

国道二五四号バイパス 富岡市(曾木)⇄甘楽町(福島)開通

交通渋滞緩和と地域発展に期待

平成元年度から工事が進められていた「国道二五四号富岡バイパス(第四期工区)」が四月十七日、開通となりました。

開通式には、小寺知事、今井市長、黒沢町長をはじめ、県・両市の議会関係者、地権者など多数が参加し、開通を祝いました。

また、新富岡大橋の「安全折戻三世代渡り初め」には町から代表で、大字小川の高木さん一家が参加し、安全を祈願しました。



大勢の関係者が出席して行われた開通式



町他の地権者代表で感謝状を受け取る原 初雄さん

暫定二車線で開通

富岡バイパスの工事は、昭和四八年に第一期工区(富岡市一の宮)が着手され、平成三年の五月までに三工区合わせ、約五・一キロメートルが開通しています。

今回開通した特報は、富岡市のJJA甘楽富岡から甘楽町の福島地区(国道下高尾小橋)に至る延長一・六八〇メートルで、幅員六・五メートル、歩道三メートルの暫定二車線で開通となっています。

このバイパスの開通によって、特性的な交通渋滞の緩和、交通安全の確保はもちろんのこと、富岡市、甘楽町そして西毛地域の経済、産業、文化の発展に大きく貢献するものと期待されています。

バイパスのゆくえ

現在、開通した富岡バイパスは交通がスムーズになると考えられます。

三世代で渡り初めを行った

高木さん一家
(左から三人目は小寺知事)



しかし、その先が未整備のため、国道に向かう車や国道から県道に入る車の混雑が予想されています。

このため、甘楽北部は調整圏内の幹線道路から現国道を結ぶ道路を急ピッチで建設中で、三年後の供用開始をめざしています。

このバイパスは、将来的には、甘楽町を通過して吉井町の上信越自動車道のインターチェンジまでを結ぶ道路となる予定です。